

自己資本・経営効率の状況【単体】

自己資本比率（国際統一基準）

（単位：億円、％）

	2018年9月30日	2019年9月30日
1. 単体総自己資本比率（4/7）	12.96	13.25
2. 単体Tier1比率（5/7）	12.96	13.25
3. 単体普通株式等Tier1比率（6/7）	12.96	13.25
4. 単体における総自己資本の額	5,159	5,226
5. 単体におけるTier1資本の額	5,159	5,226
6. 単体における普通株式等Tier1資本の額	5,159	5,226
7. リスク・アセットの額	39,781	39,441
8. 単体総所要自己資本額	3,182	3,155

利鞘・利回り等

（単位：％）

	2018年度中間会計期間			2019年度中間会計期間		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用利回り	0.80	2.70	1.05	0.74	2.83	1.02
資金調達原価	0.76	1.85	0.92	0.76	2.15	0.96
総資金利鞘	0.04	0.85	0.13	△0.02	0.68	0.06

利益率

（単位：％）

	2018年度 中間会計期間	2019年度 中間会計期間
総資産経常利益率	0.31	0.29
資本経常利益率	4.99	4.61
総資産中間純利益率	0.22	0.20
資本中間純利益率	3.55	3.16

(注) 1. 総資産経常(中間純)利益率 = $\frac{\text{経常(中間純)利益}}{\text{(期首総資産 + 中間期末総資産)}} \times 2 \times 100 \div 365 \div 183$ 2. 資本経常(中間純)利益率 = $\frac{\text{経常(中間純)利益}}{\text{(期首純資産の部 + 中間期末純資産の部)}} \times 2 \times 100 \div 365 \div 183$

●用語の解説

自己資本比率規制

銀行の自己資本比率規制については国際決済銀行（BIS）において、銀行業務の自由化、金融市場の国際化が進展するなかで、国際的な銀行システムの安定性の向上と銀行間の競争条件の平等化を図るための国際統一基準が定められています。この自己資本比率の目標比率は、1993年3月期以降8.00%以上と定められています。